

令和7年度 事業報告

I 概況

令和7年度発表の「統計からみた我が国の高齢者」（総務省）によると高齢者の就業は引き続き拡大しており、令和6年の65歳以上の就業者数は930万人、就業者総数に占める割合は13.7%となりました。65歳以上の就業者数は21年連続で増加しています。

このような状況のもと、大田区シルバー人材センターは、地域における多様な就業機会の確保と高齢者の活躍支援を進めます。

会員の拡大については、新聞折り込み広告チラシなどの効果的な広告掲出は継続しつつ、デジタル広告を活用することでSNSを利用する方を対象にセンターをPRしました。また、入会承認を理事会承認から会長承認に変更し、入会登録手続きから入会完了までの待機期間を短縮させました。さらに女性をターゲットとした入会促進を図るため、女性会員にとって魅力的な仕事を提供できるように、独自事業として小物の製作・販売事業の立ち上げに取り組みました。また、未就業会員へ連絡する専門員を設置し、近況の確認とセンター活動の案内を行うことで退会抑制に努めました。

就業機会の拡大については、公益財団法人東京しごと財団の事業「シルバー人材センター向けトライアル就業」の枠組みで、顧客にセンターを試行的に利用してもらい、不安や疑問を解消することで、本契約に繋げる取り組みを行いました。ハローワークへの定期的な訪問・情報交換、シニアワーク連絡会でのセンターのPR等、引き続き関係機関・団体と連携しました。清掃等の人手不足分野の研修を定期的実施することで、就業会員のスキルアップを図りました。加えて、清掃業務を新たに開始する会員が随時学べるよう、動画「清掃の基本」を作成し、センターのホームページ内の会員専用ページに公開しました。

安全就業の推進と健康の確保については、継続して会員に健康診断受診を奨励することで、会員が自身の健康状態の変化に気づくきっかけづくりを行いました。

地域との連携強化については、4月から大田区88施設にシルバーサロンのPRチラシの配布・掲示を開始し、区民周知のため広報の充実に努めました。社会奉仕活動も依然として盛んに行われており、環境美化活動には多くの会員が参加しています。

事業運営基盤の強化については、公益法人制度の変更に伴い、外部理事・監事を導入するなど、適切に対応しました。

令和7年度は、第4次中期計画の初年度にあたり、各事業を推進してきた結果、会員数については、3,240人で、前年度と比較し、80人の増となりました。契約金額については請負・委任業務では、919百万円、前年度と比較

し、23 百万円の増額となりました。シルバー派遣では、201 百万円、前年度と比較し、5 百万円の増額となりました。両者を合計した契約金額は 1,120 百万円と前年度を 29 百万円上回り、中期計画の目標額は 11 百万円下回りました。

令和 8 年度は、第 4 次中期計画の中間年度です。計画の進捗状況を分析し、遅れがみられる事業については目標達成に向けた取り組み強化を図ってまいります。

II 基本方針

- 1 会員の拡大
- 2 就業機会の拡大
- 3 安全就業の推進と健康の確保
- 4 地域との連携強化
- 5 事業運営基盤の強化

III 令和 7 年度の事業実績

＜令和 7 年度の目標数値と実績＞

項 目	目標数値	実 績
会員数	3,140 人	3,240 人
契約金額（請負・委任）	930 百万円	919 百万円
契約金額（シルバー派遣）	201 百万円	201 百万円
契約金額（合計）	1,131 百万円	1,120 百万円

＜会員数及び契約金額の年度別一覧表＞

（単位：人、千円）

項 目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
会 員 数	3,026	3,093	3,094	3,160	3,240
契約金額 （請負・委任）	831,202	861,066	919,403	895,606	919,428
契約金額 （派遣事業）	141,554	142,503	169,245	195,651	200,914
契約金額 （合計）	972,756	1,003,569	1,088,648	1,091,257	1,120,342

IV 事業実施報告

1 会員の拡大

（1）入会促進

①入会者の増強

◇デジタル広告でセンターに興味を持った方に対し、ランディングページ [注]（以下「LP」）でセンターの魅力をわかりやすく伝えました。
SNS 広告等から LP に誘導し、ウェブサイトでの入会説明・登録会の予約

を行える仕組みを構築しました。LP から予約した参加者の内 53 人が入会しました。

◇大田区や区内の他団体が主催するイベントで、センターの活動を PR しました。

◇会員募集のための新聞折り込み広告チラシを区内全域に配布しました。4 月、10 月、3 月に計 3 回配布しました。あわせて、2 月に区内全域を対象にポスティングチラシを配布しました。

◇12 月に「プレシニア向け『お金』と『健康』セミナー」を大田区と共催し、57 人が参加しました。センターで活動することのメリットを伝えることで、将来会員になる可能性がある方にアプローチしました。

[注] ランディングページ…オンライン広告や検索エンジンなどのリンクをクリックしたときに最初に表示されるウェブページのこと。

②入会手続きの見直し

◇入会希望者が速やかに入会できるよう、入会承認の手続きを見直し月 1 回の手続きから入会登録日に手続きができるようにしました。

◇出張入会説明会を 3 ヶ所で 3 回実施し、32 人が入会しました。

③女性をターゲットとした入会促進

◇2 月に区民向けに「朝の児童見守り業務」に関する説明会を開催、直後に同会場で入会手続きができる体制を整えました。24 人が入会し、うち 13 人が女性でした。

◇女性会員にとって魅力的な仕事を提供するために、12 月に小物の製作・販売事業を立ち上げ、布ぞうりの製作・販売を開始しました。

(2) 退会抑制

①未就業会員へのアプローチ強化

◇未就業会員からの相談に対応する機会を設けるために、職員等による未就業相談会を継続して実施しました。5 月、6 月、8 月、11 月、2 月に計 8 回実施（計 45 人参加）し、就業や社会貢献活動の情報提供を行うことにより、センター活動への参画を支援しました。

◇未就業会員へ状況確認の連絡をする専門員を設置し、未就業の新入会員 163 人に電話によるフォロー連絡を行い、センター活動への参画を支援しました。

②センター事業を深く知るための機会の創出

◇直近で入会した会員を対象に、センターの活動について、より理解を深めてもらうための「新入会員向けフォローアップ研修」を 3 回実施し、74 人が参加しました。

2 就業機会の拡大

(1) 就業機会の創出

①効果的な就業開拓の実施

◇保育、介護、小売、医療など、人手不足分野をターゲットとした就業

開拓に取り組み、派遣事業の拡大を図りました。

- ◇公益財団法人東京しごと財団が実施する「トライアル就業」の枠組みを活用し、20 件で試行的な就業を実施し、17 件を契約に結びました。
内 6 件が事務系職種でした。

②関係機関・団体との連携強化

- ◇大田区各部局に対し、高齢福祉課を通じセンター活用事例を共有し、より一層のセンター活用を促しました。
- ◇シニアワーク連絡会〔注〕の枠組みを活用し、地域の関係機関と連携し、事業を PR しました。
- ◇ハローワークを月 1 回定期的に訪問し、情報を交換することで地域の労働需要を把握しました。

〔注〕シニアワーク連絡会…センター、大田区高齢福祉課、ハローワーク、いきいきしごとステーション、シニアステーション糺谷等との連携強化を目的として令和 4 年度から開催している意見交換会のこと。

③いくつになっても活躍できる環境の整備

- ◇モニター・アンケート回答業務等、身体的負担が少ない就業の拡大を目指し、教育機関、企業を対象とした就業開拓に取り組みました。モニター・アンケート回答業務等については計 12 件受注し、実人員で 316 人が就業、契約金額合計は 1,467,360 円でした。

(2) マッチングの強化

マッチングスピードの向上

- ◇会員専用サイト Smile to Smile の活用を推進し、デジタルを活用した就業情報の提供を進めるとともに、シルバーサロンにおける「スマホ使い方相談」で、会員サポートを行い、計 512 人が利用しました。

(3) 顧客の利便性向上

継続的に発注してもらえる体制づくり

- ◇公園・緑道清掃業務において「人材ストック制度」を導入し、会員の就業辞退等による欠員を速やかに補充できる体制を整えました。
この仕組みを活用し、3 件のマッチングを実現しました。
- ◇民間発注者 361 件を訪問し、発注者の困りごとの把握、解決に取り組みました。

(4) 会員のスキルアップ

効果的・効率的な研修実施体制の確立

- ◇人手不足である清掃業務の就業会員を増やすため、マンション清掃・安全研修を 6 回（計 40 人参加）、清掃基礎・安全研修を 5 回（計 36 人参加）、ハウスクリーニング・安全研修を 4 回（計 27 人参加）実施し、就業会員のスキルアップを図りました。
- ◇動画「清掃の基本」を作成し、会員専用ページで公開しました。
新たに清掃業務を開始する会員等が随時学べるようにしました。

(5) 会員満足度の向上

就業会員が意見交換できる場の提供

◇一部の職群等において、会員同士で就業における悩み等を相談できる場を提供するため、検討を進めました。

3 安全就業の推進と健康の確保

(1) 安全就業の推進

①研修・講習会の実施

◇職群別の技術研修と同時に実施する形式で安全研修を実施しました。

◇11月に交通安全講習会（13人参加）、12月にAED講習会（12人参加）を開催し、就業途上の事故防止や救命の基本について学ぶ機会を提供しました。

②事故防止の徹底

◇安全パトロールを月に2回、強化月間の7月、11月は5回、計30回実施しました。各就業現場の危険要因の洗い出しを行い、当該現場の会員に対し、改善方法をフィードバックしました。

◇事故現場確認、4M分析〔注〕を用いて、事故の再発防止に取り組みました。

〔注〕4M分析…Man（人）、Machine（機械）、Material（材料）、Method（方法）の4つの要素を分析・改善していくことで、課題発見や問題解決を図る手法のこと。

(2) 健康の確保

①健康状態の把握

◇2月に健康診断受診状況調査を実施し、会員に健康診断の受診を奨励することで、会員が自身の健康状態の変化に気付くきっかけをつくりました。

◇6月、12月に体力測定会（計53人参加）を開催し、参加者が自身の体力を把握できる機会を創出しました。

②健康増進に関するサポート

◇フレイル〔注〕予防プログラムとして、9月、1月、2月、3月に「健康運動教室」（計81人参加）を開催し、日常的な運動習慣をつくるきっかけを提供しました。

〔注〕フレイル…年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のこと。

4 地域との連携強化

(1) 高齢者を支えるネットワークづくり

①地域交流の促進

◇高齢者等地域住民の交流を目的としたシルバーサロン事業を区民に周知するために、4月から大田区関連施設でシルバーサロンのPRチラシ

の配布・掲示を開始し、区民周知のため広報の充実に努めました。

②他団体との連携

◇地域力推進地区委員会〔注〕に参加して、センター事業についてPRし、各団体との連携を目指しました。嶺町・羽田・六郷地区の地域力推進地区委員会に毎月各ブロック長が出席し、各団体との連携に努めました。

〔注〕地域力推進地区委員会…18 地区毎に地域の特性に合わせたメンバーで構成される委員会。メンバーは行政機関（大田区、消防、警察等）、自治会・町会、事業者、団体・NPO などである。各々の連携・協働を推進することで、「地域力」を高め、地域の課題を解決し、魅力ある地域を創造していくことが目的である。

（２）会員活動の活性化

①地域ブロック活動の推進

◇各地域ブロックが主催している環境美化活動への参加を呼び掛けるチラシを２月に配布し、会員に活動参加を促しました。

②社会奉仕活動の実施

◇地域のイベントでのボランティア活動に取り組みました。

◇当センター独自の活動である環境美化活動を計 43 回実施しました。

５ 事業運営基盤の強化

（１）組織の強化

①事業環境の変化への対応

◇公益法人制度の変更に伴い、６月の定時総会で定款を変更し、外部理事、外部監事を導入するなど、適切に対応しました。

②人材の強化

◇９月に役員研修「自主事業の意義～SC の役割とは～」を実施しました。

◇職員の見識を深めるために、１２月に港区シルバー人材センターを視察しました。

③事務局業務の効率化

◇マンション清掃において、就業現場の確認、会員と顧客との顔合わせ等を担当するコーディネーターを配置しました。

◇会議、打合せの音声から議事録を自動作成できるシステムを導入しました。

（２）危機管理体制の強化

就業会員の意識改革

◇接遇、安全、人権等、あらゆる職群で必要となる知識を学べる就業基礎研修を４回実施し、計 141 人が参加しました。

V 会員の状況

入会説明・登録会は、本部での通常開催に加え、区内3ヵ所出張入会説明・登録会を開催しました。また、Web入会を利用した入会者が104人となり全体の18.12%を占めました。前年度と比較し、入会者は29人増加し、退会者は15人増となりました。会員数は80人増加し、平均年齢は0.1歳増となりました。

項 目	令和7年度末	令和6年度末	前年度比	
会員数	3,240人	3,160人	80人増	102.53%
男性	1,834人	1,791人	43人増	102.40%
女性	1,406人	1,369人	37人増	102.70%
会員の平均年齢	75.6歳	75.5歳	0.1歳増	
男性	76.2歳	76.2歳	0歳増	
女性	74.7歳	74.6歳	0.1歳増	

＜令和7年度末の入退会者数は以下のとおり＞

項 目	令和7年度末	令和6年度末	前年度比	
入会者数	574人	545人	29人増	105.32%
退会者数	494人	479人	15人増	103.13%

VI 事業の実績

(1) 請負・委任事業における受注件数と契約金額

令和7年度末の受託件数・契約金額（請負・委任）は、下表のとおりです。「公共」と「民間」の契約金額の比較は、「公共」56.18%（前年度54.72%）、「民間」43.82%（前年度45.28%）、前年度比で「公共」が1.46ポイントの増加となりました。

項 目	令和7年度末	令和6年度末	前年度比	
受託件数	16,435件	17,051件	616件減	96.39%
公共	3,549件	3,517件	32件増	100.91%
民間	12,886件	13,534件	648件減	95.21%
契約金額	919,428千円	895,606千円	23,822千円増	102.66%
公共	516,504千円	490,068千円	26,436千円増	105.39%
民間	402,924千円	405,538千円	2,614千円減	99.36%

独自事業〔注〕（受注件数および契約金額は請負・委任事業実績に含まれる）

(i) カルチャー講座

項 目	令和7年度	令和6年度	前年度比	
受注金額	205千円	237千円	32千円減	86.50%

(ii) 小物の製作・販売

項 目	令和7年度
受注金額	237千円

〔注〕独自事業…会員の働く機会を広げるため、会員が独自の創意と工夫により企画し、自ら実施する事業のこと。

(2) シルバー派遣事業における受注件数と契約金額

シルバー派遣事業は、令和 7 年度に 10 年目を迎えました。区立・私立保育園での保育補助業務やスーパー店舗での各種業務、介護施設での軽作業、工場での加工・組立業務に加え、新たに医療機関での受付業務、寺院での軽作業等、多様な業務を受注しました。着実に実績を積み重ね、令和 7 年度の契約金額は前年度比で 102.69%でした。特に、職業分類上、事務的職業に分類される受注の契約金額は前年度比で 130.48%でした。なお、公益財団法人東京しごと財団からセンターが受け取った令和 7 年度の事務委任手数料は、23,394 千円（税込）でした。

項 目	令和 7 年度末	令和 6 年度末	前年度比	
受託件数	413 件	334 件	79 件増	123.65%
契約金額	200,914 千円	195,651 千円	5,263 千円増	102.69%

(3) 年間就業実人員

令和 7 年度の請負・委任事業の就業実人員は 1,598 人で令和 6 年度の 1,688 人と比べ、90 人減少しました。派遣就業実人員は 316 人で令和 6 年度の 328 人に比べ 12 人減少しました。請負・委任、派遣の重複が 68 人いたため全体の就業実人員は 1,846 人となりました。

(4) 年間就業率 [注]

令和 7 年度の請負・委任年間就業率は 49.32%となり、前年度から 4.10 ポイント減少しました。また、シルバー派遣事業を含めた年間就業率は 56.98%となり、前年度から 4.35 ポイント減少しました。

[注] 就業率…全会員中どれくらいの人が就業したかを示す数値

VII 附属明細書

令和 7 年度事業報告に、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の附属明細書」として記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

※契約金額の増減額と％は、端数処理前の金額で計算した後に四捨五入処理をしています。

※単位が百万円、千円の場合は小数第 1 位を、単位が％の場合は小数第 3 位を四捨五入しています。